

日本混相流学会
2007 年度第 5 回理事会・議事録

日時：平成 20 年 7 月 12 日(土) 13:00-17:00

場所：日大理工学部 駿河台キャンパス 9 号館 3 階 935 号室

出席者(理事)：井口学(会長)、矢部彰(筆頭副会長)、逢坂昭治(企画担当副会長)、奈良林直(情報担当副会長)、高橋弘(情報部会長)、功刀資彰(企画部会長)、石井俊夫(国際部会長)、大参達也(総務部会長)、大成博文(リエゾン担当理事)、大川富雄(関西地区担当理事)、齋藤隆之(学生会担当理事)

出席者(オブザーバー)：近藤健(事務局)

議題と配布資料：

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 前回議事録の確認 | [資料 2007-5-01] |
| 2. 平成 19 年度学会賞選考結果 | [資料 2007-5-02] |
| 3. 名誉会員候補者 | [資料 2007-5-03] |
| 4. 2008 年度会長選挙結果 | [資料 2007-5-04] |
| 5. 2008 年度評議員 | [資料 2007-5-05] |
| 6. 2008 年度理事役員(案) | [資料 2007-5-06] |
| 7. 総会資料(案) | [資料 2007-5-07] |
| 8. その他総務部会報告事項 | [資料 2007-5-08] |
| 9. 情報部会活動報告 | [資料 2007-5-09] |
| 10. 企画部会報告 | [資料 2007-5-10] |
| 11. リエゾン委員会報告 | [資料 2007-5-11] |
| 12. 国際部会報告 | [資料 2007-5-12] |
| 13. 入退会者リスト | [資料 2007-5-13] |
| 14. その他 | [資料 2007-5-14] |

議事：

1. 前回議事録確認

大参総務部会長から、資料 2007-5-01 に基づき前回議事録の確認があった。訂正等ある場合には近日中に総務部会長まで連絡することとした。

2. 平成 18 年度学会賞選考結果

学会賞選考委員長の矢部筆頭副会長から、当日持ち込み資料 2007-5-15 に基づき平成 19 年度学会賞選考結果が報告された。ただし推薦件数が少なかったことから、選考委員会で再度協議し理事会に諮りたいとの意向が示され了承された。

3. 名誉会員候補者

名誉会員選考委員長の矢部筆頭副会長から、当日持ち込み資料 2007-5-15 に基づき名誉会員候補者選考結果が報告された。この件も、再度選考委員会で協議し理事会に諮る旨了承された。

4. 2008 年度会長選挙結果

日本混相流学会 2008 年度会長選挙結果が、資料 2007-5-04 に基づき報告された。2008 年度会長当選者：
矢部 彰（産総研）

5. 2008 年度評議員

資料 2007-5-05 に基づき日本混相流学会 2008 年度評議員選挙結果が報告され、続いて矢部 2008 年度会長より会長推薦分 5 名が以下のように提案された。

社河内 敏彦（三重大学）、上野 隆司（三菱重工業）、阿部 豊（筑波大学）、竹村 文男（産総研）、
道奥 康司（神戸大学）

6. 2008 年度理事役員(案)

2008 年度理事役員が、以下のように提案された。

会 長	矢部 彰	産総研
筆頭副会長	社河内 敏彦（総務担当）	三重大学（会長推薦）
副会長	上野 隆司（企画担当）	三菱重工業（会長推薦）
副会長	阿部 豊（情報担当・財務委員長）	筑波大学（会長推薦）
理事・情報部会長	道奥 康司（編集委員長）	神戸大学（会長推薦）
理事・企画部会長	齋藤 隆之（企画運営委員長， 東海地区担当）	静岡大学
理事・国際部会長	石井 俊夫（国際交流委員長， 関東地区担当）	JFE 技研
理事・総務部会長	竹村 文男（総務委員長）	産総研（会長推薦）
理事	梅景 俊彦（九州地区担当， OMF 担当）	九州工業大学
理事	村上 幸一（中国・四国地区担当）	愛媛大学
理事	服部 修次（北陸・信越地区担当）	福井大学
理事	梅川 尚嗣（関西地区担当， 学生会担当）	関西大学
理事	伊藤 幸雄（東北地区担当）	八戸工業大学
理事	杉山 弘（北海道地区担当， リエゾン担当）	室蘭工業大学
監事	篠田 高明	タクマ
監事	益山 忠	東海大学
年会講演会・混相流シンポジウム実行委員長	佐田富 道雄	熊本大学
日本学会会議水力学・水理学専門委員会委員	社河内 敏彦	三重大学
論文審査委員長	佐田富 道雄	熊本大学
選挙管理委員長	大川 富雄	大阪大学
インターネット運営委員長	塩見 洋一	龍谷大学
レクチャーシリーズ運営委員長	田中 敏嗣	大阪大学
オーガナイズド混相流フォーラム実行委員長	細川 茂雄	神戸大学
混相流技術リエゾン専門委員長	杉山 弘	室蘭工業大学
日欧二相流専門家会議委員長	菱田 公一	慶應義塾大学
ICeM 委員長	賞雅 寛而	東京海洋大学
ICMF 運営委員長	富山 明男	神戸大学
混相流計測技術国際シンポジウム委員長	岡本 孝司	東京大学

混相流実験データ映像館運営委員長
研究企画委員長

阿部 豊 筑波大学
小泉 安郎 信州大学

※日本学術会議水力学・水理学専門委員会委員については、理事会後、日本学術会議水力学・水理学専門委員会は既に廃止されたとの指摘があった。

7. 総会資料(案)

資料 2007-5-07 に基づいて総会資料(案) の内容が説明された。

8. その他総務部会報告事項

資料 2007-5-08 に基づいて、第 4 回理事会以降のメール審議内容の確認を行った。

(独)大学評価・学位授与機構長名で文書が郵送されてきた国立大学教育研究評価委員会専門委員の選考結果と機関別認証評価に係わる専門委員の選考結果の内容が報告された。また、学術著作権協会の新ホームページへの情報登録については、情報部会長と相談の上、対応する予定であることが報告された。

9. 情報部会報告

3.1 編集委員会報告

高橋情報部会長から資料 2007-5-09 に基づき以下の報告があった。

(1) 論文投稿状況の報告

(2) 会誌発行に関する報告

22 巻 2 号～22 巻 3 号までの会誌編集状況が報告された。

(3) 会誌の編集方針／長期編集企画に関する報告

22 巻の特集記事タイトルの予定と編集委員会の開催スケジュールが報告された。

(4) J-Stage 関連

会誌第 21 巻 1～3 号の公開、22 巻 1 号掲載論文からの公開作業は外注によること、過去の論文についても同様に外注で対応する予定であることが報告された。また、今後早急に検討すべき課題として、電子データの残っていない過去論文の取扱いと J-Stage 公開の予算措置の問題が提起された。

10. 企画部会報告

功刀企画部会長から資料 2007-5-10 に基づき以下の報告があり、必要事項について審議した。

(1) 混相流学会年会講演会 2008・第 27 回混相流シンポジウム準備経過報告 [資料 2007-5-10a]

(2) 2007 年度 OMF 開催報告および会計報告 [資料 2007-5-10b]

(3) 「混相流のグラフィックシミュレーションと可視化研究会」活動報告および会計報告

[資料 2007-5-10c、会計報告は別紙資料 2007-5-10c-2]

主査の交代が改めて報告された。松井剛一（近畿大学）→武居昌宏（日本大学）。

(4) 「混相流フォーラム関西」活動報告および会計報告 [資料 2007-5-10d]

(5) 東北混相流研究会活動報告および会計報告 [資料 2007-5-10e]

研究企画委員会の設置を期に、東北混相流研究会を終了したいとの研究会の意向が報告された。

審議の結果、これを承認した。

(6) 研究企画委員会報告 [資料 2007-5-10f]

各分科会の活動費を 5 万円から 10 万円に増額して欲しいとの要望が出された。

研究企画委員会からの活動費増額の要望に対し、会計処理上の問題を含めて審議し、以下の案を採用す

ることとした。

- ・増額については了承する。
- ・一般会計から支出する活動費は5万円とする。増額を希望する分科会については研究委員長が取り纏めて理事会に申請する。申請理由について理事会の審議を経た上で10万円を上限として認める。
- ・増額分の予算の原資としては、「年会講演会活動等」基金を取り崩して特別会計で対応する。具体的には、特別会計に新たな項目（例えば「年会活性化支援金」）を設けて予算化する。
- ・2008年度分については、総会までに増額要求する分科会からの申請を研究委員長が取り纏めて総務へ連絡する。

(7) 日本混相流学会20周年記念式典・祝賀会の会計報告 [資料 2007-5-10g]

11. リエゾン委員会報告

大成リエゾン担当理事から資料 2007-5-11 に基づき、第3回マイクロ・ナノバブル技術シンポジウムの決算報告がなされた

12. 国際部会報告

石井国際部会長から資料 2007-5-12 に基づき、ICeM 委員会、ICMF 委員会、日欧二相流専門家会議、混相流計測技術国際シンポジウム委員会、および国際交流委員会の 2007 年度事業報告と 2008 年度事業計画案が説明された。

13. 入退会者リスト

大参総務部会長から、資料 2007-5-13 として 2008 年 7 月 7 日時点での入会者と退会希望者のリストが報告された。退会希望者のうち残留可能性のある会員については声をかける担当者を決めた。

14. その他の報告等

(1) 大参総務部会長から資料 2007-5-14 に基づき、年会 2008 の会期中の行事予定（歴代会長との懇談会、評議員会、総会、2008 年度第 1 回理事会）の日時と会場が報告された。

(2) 齋藤理事より、公益法人化の動きに対応する必要があるとの問題提起がなされた。

(3) 奈良林理事より、会費の引き落とし方法についての宣伝をすべきとの問題提起がなされた。

15. 会費支払い状況リスト

大参総務部会長から資料 2007-5-16 として、会費支払い状況が報告された。2 年分会費を滞納している会員に声をかける担当者を決めた。

以上

作成：大参達也（総務部会長）